

| I | | | | | |
|----------|---------------------|---------|---------------------|---------|---------------------|
| | 花見 | | 高田誕生日 | 131113 | 西原誕生日 |
| 130404-0 | 05 PC 講座 | 130707 | 第2回建築研究会 (味鋺の家実測演習) | 131114 | 3年生第3課題提出 |
| 130410 | 前期第1回ゼミ | 130709 | NEXT21 見学会 | | 大村誕生日 |
| | 新入生歓迎会 | 130710 | 前期第14回ゼミ | 131119 | 後期第7回ゼミ |
| 130417 | 前期第2回ゼミ | 130717 | 前期第15回ゼミ | 131126 | 後期第8回ゼミ(大須フィールドワーク) |
| 130425 | 米澤誕生日 | 130719 | 3年生第2課題提出 | 131202 | 卒業設計合同中間発表会 |
| 130427 | 第1回建築研究会 (四間道・大門・赤池 | 130723 | 奥田誕生日 | 131203 | 後期第9回ゼミ |
| | • etc) | 130727 | 山本誕生日 | 131205 | 大前誕生日 |
| 130423 | 前期第3回ゼミ | 130807 | ゼミ旅行 (佐賀) | 131207 | 第3回建築研究会(浜松) |
| 130427 | 菅沼誕生日 | 130808 | ゼミ旅行 (軍艦島) | 131210 | 後期第10回ゼミ |
| 130501 | 前期第4回ゼミ | | 柳沢先生誕生日 | 131214 | 土壁づくりのワークショップ |
| 130508 | 前期第5回ゼミ | 130809 | ゼミ旅行 (長崎) | 131217 | 後期第11回ゼミ |
| 130515 | 前期第6回ゼミ | 130810 | 井野誕生 日 | 131222 | クリスマス忘年会 |
| 130516 | 中村誕生日 | 130812 | 吉田誕生日 | 131224 | 後期第12回ゼミ |
| 130519 | BBQ | 130823 | 西谷誕生日 | 130107 | 諸岡誕生日 |
| 130522 | 前期第7回ゼミ | 130824- | 0924 浜の会所プロジェクト | 130109 | 3年生第4課題提出 |
| 130524 | 名城大学新校友会館外観デザインコンペ | 130831 | 『未来の風景をつくる』学生実施コンペ | 130126 | 加藤誕生日 |
| | 提出 | | 提出 | 130128 | 後期第13回ゼミ |
| 130529 | 前期第8回ゼミ | 130905- | 14 木興プロジェクト | 130205 | 計画系ゼミ紹介 |
| 130531 | 3年生第1課題提出 | 130912 | インド調査 | | 2回生合同鍋パーティ |
| 130602 | 高橋誕生日 | 130914 | 新井誕生日 | 130214 | 卒業研究発表会 |
| 130605 | 前期第9回ゼミ | 130917 | 小原誕生日 | 130221 | 卒業設計公開審査会 |
| 130612 | 前期第10回ゼミ | 131001 | 後期第1回ゼミ | 130222- | 23 大須フィールドワーク (1日目) |
| 130619 | 前期第11回ゼミ | 131007 | ゼミ室棚完成 | 130225 | 後期第14回ゼミ |
| 130626 | 前期第12回ゼミ | 131008 | 後期第2回ゼミ | 130304 | ゼミ配属面談 |
| | 平野誕生日 | 131015 | 後期第3回ゼミ | 130313 | 追い出しコンパ |
| 130630 | 計画系ボーリング大会 飲み会 | 131022 | 後期第4回ゼミ | 130317 | 切手誕生日 |
| 130702 | 徳森誕生日 | 131023 | ハロウィンパーティ | 130319 | 卒業式 |
| 130703 | 前期第13回ゼミ | 131030 | 後期第5回ゼミ | 130326 | 平成 26 年度第 0 回ゼミ |
| | | | | | |



『名城大学新校友会館外観デザインコンペ』 4月中旬から5月下旬にかけて、今年度初のコンペに取り組みました。このコンペでは、名城大学の新たなシンボルとして名城大学らしさを表現すると共に、より多くの方に認知され愛される建物を目指しているので、研究室で4チームに分かれ、チーム毎にその外観を周辺の環境とどうやって調和させ、カッコいいデザインを生み出すのかを考えました。4年生が中心となって3年生を引っ張り、3年生はコンペの進め方やプレゼンの表現方法などを学びました。

まだコンペの経験がない上に、ベクターワークスやイラストレーター、フォトショップなどのソフトの使い方が分からない3年生にとって貴重なを観りと課題にある。打ち上げでは、中村さんの誕生日会のお祝いを兼ねて行いました。









育劫、赤池



2013 年度第一回建築研究会 名古屋の歴史を持つ建築」を ーマとして、四間道、中村 区大門、アクテノン、中小田 井、そして赤池へコンペの敷 地見学へ行きました。善光寺 別院願王寺は日本建築学会賞 を受賞した建築で、既に改築 されていて、今まで見てきた 寺院とは違うカッコ良さがあ り、周辺と調和されたデザイ ンでした。敷地見学が終わっ た後のお酒を飲みながらのブ レインストーミングはとても 盛り上がり、たくさんの良い 意見を共有できました。





↑ BBQ みんなで BBQをしました。3・4年生共 に準備するうちに打ち解けて、和気あいあいと会話 しながらこんがり焼けた美味しいお肉を食べまし た。食べた後はサッカーやキャッチビーで汗を流し てカロリーも消費できました(笑)。終盤に雨が降っ てきてしまいましたが、協力して片づけ、ゼミ全体 の仲が深まった濃い一日でした。



↑誕生日会 第13回ゼミの後、飲み会が開催されたときにサプライズ誕生日会をしました。人数が多かったので、ケーキも大きいものを用意してくれました。毎回恒例となっている誕生日会ですが、自分の誕生日が近づいてくるとみんな心のどこかで期待してしまいます。又、企画係が毎回ちょっと良いケーキを持ってきてくれるので味にも期待してしまいます。





研究室レイアウト 今年度 に新研究実験棟 (K 棟) が完成 し、そこに研究室を引っ越した のがきっかけで、研究室の家具 を手作りすることに決まりま した。そのために研究室で新し く工具を揃えて、今現在、出 来ているのが、本棚とロッカー (扉を付ける予定)と座敷(3つ のうちの1つ)です。写真は、 中村さんが中心となって造っ た本棚とロッカーの第1号で す。ロッカーが完成した後、使 う所をくじで決めたときはみ んなどきどきでした。2014年 度では、机や模型棚などまだま だ途中段階なので、新3年生 も一緒にレイアウトや作成を していき、完成までいきたいと 考えています。



↑→域学連携「張の会所」プロジェクト 東日本大震災の被災地の一つである気仙沼市で、滋賀県立大学陶器研究室を中心に全国から集った学生ボランティアと地域の住民や子供達とが交流を行い、学び、楽しむ場所で、その機会を作り上げる活動を行っていた「たけとも」の発展的な活動です。主な活動としては、気仙沼市の竹や土など地域にある自然の素がを使って、地元の人が気楽に集まれる場(浜の会所)を建設するという活動をしました。完成した浜の会所の落成式には地域の方々が集まり、地元の踊りをしてくれて、みんなで完成を喜びあいました。



『未来の風景をつくる』学生実施コンペ 5月下旬か ら8月下旬にかけて、赤池の中でできる新しい街に、 新しい家族が住まう、可能性をもったこのようなとこ ろだからこそ、新しい住宅の価値を伝えられるのでは と考えられたコンペです。この提案は、現実に「自分 たちならどんなまちに住みたいか」ということに正面 から向かい合った、まちの風景の青図です。建築に詳 しくない人でも「いいな」と思えることを大切にして、 また、有力なクライアント像は、子育て家族世帯が考 えられて、子供が育つように、まちも育って、地域の お祭りといった新しい慣習や恒例行事が行われ、新し く赤池に集まって来た人たちが自分たちで未来の風景 をつくる、3軒同時だからこそ可能となるルールが考 えられました。始まって最初の方は4年生中心にとい うわけではなく、3年生も積極的に意見を出して熱い 議論が交わされました。中間審査に近づいてからは、 平野さん、西谷さんを筆頭に4年生数名が中心となっ て進めていました。発表の時は緊張していたと思いま すが、いい経験になり、審査員の方々にためになるコ メントを頂きました。綺麗に仕上がった A1 のパネル は3年生にとって印象深かったです。















ゼミ旅行 2013年度のゼミ旅行は、佐賀と長崎に行ってきました。1日目の佐賀では、市村記念体育館や大隈重信記念館、山口家住宅など、歴史のある建築物や TSUTAYA が運営する武雄市図書館などを見学してきました。そして、夜は現地の食材に舌づつみし、1日の思い出を語り合いました。2日目はフェリーで軍艦島へ行きました。時間の経過によって出来上がったこの廃墟の島は、人工物とも自然物とも言えぬとても魅力的な空間でした。又、長崎にはキリスト教の施設がたくさんあります。その中のひとつ、聖フィリッポ教会を訪れた際には、貴重な図面の原本を見せて頂き





ました。その後の夜は BBQ や花火をして楽しみました。3日目は長崎市内を見学しました。この日は長崎に原爆が投下された日でもあり、街は平和活動一色でした。そして、建築の持つ役割などを改めて考えさせられました。その後は、大正時代に建設された針生送信所無線塔や白井展一の設計した親和銀行本店を見学し、最後は弓張岳展望台から旅した街を見下ろして、毎回恒例のウォーで記念写真を取り、締めくくりとなりました。













← ↓ 木製プロジェクトサマースクール 写真のニュー田の浦センターの増築を行いました。ニュー田の浦センターとは宮城県田の浦地区に住民の集まる場として、2012年の木興プロジェクトにて設計施工された集会所であり、現地の方々の増築しいてほしいという声から、それに応えるという形で、滋賀県立大学の人たちが中心となって2013年に増築をするという事になりました。私たちの研究室からは徳森、諸岡、岡田、大前、井野の五人で8/26から9/21の施工期間で、9/5から9/14の10日間、体験するという形で参加しました。基礎づくり、木加工、組み立ての作業を体験し、色々な工具を使う事ができて、現場を知るいい経験になりました。竣工したものを見に行った時の達成感はすごく気持ちよく、喜びに満ちていました。









インド調査 去年の9月から三週間ほどヒンドゥー教の聖地・ヴァラナシに柳沢先生と小原、西原、大村、奥田で研究・調査を行ってきました。調査の目的は既存のヒンドゥー寺院の囲い込みを伴う増築現象に注目し、これを<場所の記憶を物理的に継承しつつ都市空間を更新するシステム>として捉え、その有効性を評価する事です。写真のような住宅と寺院が一体化しているようなものや寺院を住宅として使用して増築したりしているものが対象で、事前調査として融合寺院の確認とその融合形態を調査したあと、実際にヒアリングを行いました。「いつから住んでいるのか」「何故こういった場所に住もうと思ったのか」など細かい項目に分けられた質問を現地の通訳さんを介して行い、その寺院の歴史やその家族の歴史について直接触れる事ができました。突然の訪問にも関わらず快くヒアリングに応じてくれました。



↓**ハロウィンパーティー** この日はハロウィンパーティーと2年生に対してのゼミ室紹介を兼ねてわいわいしてました。ゼミ室をハロウィン仕様にし、ゼミの活動紹介のスライドをつくりました。2年生は柳沢研に興味を持って来てくれているので、飲み食いしながらスライド3年生と2年生の交流でゼミの活動内容を伝えることができました。





あじまの家改修プロジェクト あじまプロジェクトは名古屋市北区東味鋺にある住宅をセカンドハウスへリノベーションするというプロジェクトです。現在の計画は岡田、菅沼、高田、徳森、諸岡が中心メンバーとなって行っています。まず、去年の7月に実測調査を行いました。実測は研究室全体で行って、立面図、断面図、各部屋の展開図を描くために人数を分担して、寸法を測り、写真を撮りました。断面図を描くための寸法をとるため、ホコリをかぶりながら屋根裏にのぼると、想像以上の複雑な構造が架かっていました。また、畳をはがして床下に潜るなど、家全体の至る所を測りました。そして、その調査をもとに出来たのが写真(真ん中)の軸組模型です。スケッチアップを使い、立ち上げた後、それを見ながら作成しました。また、実測図面(平面図、立面図、断面図、各部屋の展開図)をCADデータにしました。だいたいここまでの作業を夏休み期間中に行った内容です。それが終わってデザインしていく段階で、キッチンの配置について激しく議論したり、一つ一つの部材に使われる素材を細かく決めたりなど、スタディーしてエスキースを繰り返す中、あじまの家の施工担当である大工の中村さんと打ち合わせする機会がありました。普段間けない大工さん目線の話も間けて勉強になりました。うまくいけば 2014 年度の四月から施工に入ります。施工の際は、学生ができる範囲で壁の塗装などに実際に携わります。





→↓第三回建築研究会 『質感を意識したディティールを知る旅』をテーマとして静岡県浜松市へ行きました。最初に行った秋野不矩美術館は、和洋どちらとも言えるような不思議な建物で存在感のある藁の入った土壁と左右の杉板、スレートの屋根が違う素材なのにマッチしていてかっこよかったです。この日は天気も快晴で、建築の背景もよりいい感じに見えました。次に 403architecture dajiba が解体・設計・施工をした海老塚の段差・頭陀寺・渥美の床に行きました。海老塚の段差では、集合住宅の一室をリノベーションで半分の床を取り払って、800㎜の段差を造り、床下収納やベランダへの動線をつくり、空間の広がりや、インテリアの新たな可能性を感じました。頭陀寺の壁は他のプロジェクトで使用した廃材を使用していて、構造的に一本一本が柱の代わりになっているらしく、廃材でも色や質感の違いでカッコいい表情を作るれる事に驚き、勉強になりました。最後に浜松市松韻亭を見に行って、そこは取次と寄付、入側から広間とまだ少し残っている紅葉の庭を見ることができ、まさに『和』というものを感じられました。照明の当て方も綺麗で、杉や栗などの銘木を使用した素材感も新鮮でした。











↑大須フィールドワーク 卒業論文、卒業設計の練習として 10 月から大須を対象とし、大須を把握するために文献調査や実際に現地に行き、大須の魅力や問題点、可能性、今後の課題、提案を目標に行っています。書籍や論文、地図などの文献調査や実際に大須へ調査に行った時のヒアリング調査や建物調査はすごくためになった経験になり、普段は意識していない所を意識した調査は色々な発見があって、新鮮でした。現在は調査したものをまとめる作業に入っていてシート作成を目標しています。出来たら提案までいけたらと考えています。



←**ワークショップ** 建築家の 安井聡太朗さんが主催する「杉 と土でつくる家」。した。。 ショップに参加した。のともた。 ショップに参加した。と共たの住宅に用いる杉や土を、 学生や地域の方々と共に日事で 学生や地域の方々と共に日事で 学生やに用いる七を、 と混ぜて足で練って作ったり、 とにで練ってをりない。 での大鉄のし、土壁にした。 での大鉄の竹を伐採した。 でのたれて やりショップを計画る城大 でして、 でいるので、これからもんです。 として携わっていきたいと として携わっていきたいと





↑ **卒業設計** 12 月になると 4 年生は卒業設計で大忙しです。製作室を改造して各個人専用のスペースをつくって作業していました。 〆切が近づいてくると、寝袋や暖房器具を持ち込んで寝泊まりしながら、 2 月頭の〆切に何とか間に合わせるように作業を続けていました。 2 年生、 3 年生も手伝いに駆けつけてゼミ生総出で作品をつくっていました。 作業は大変でしたが出来上がる作品がどれも魅力に満ちていました。 提出し終わった時は達成感で誰もが喜んでいました。 2 年生、 3 年生は手伝っている中、ソフトを扱う技術や、模型製作の技術を向上させるのにもいい機会になりました。

←卒業設計審査会 卒業設計審査会では、計画系の先生方や3回生、そして2回生の前で、プレゼンテーションが行われました。朝方まで入念に資料作成や練習をしていた4回生の人は、限界になりながらも、しっかりとしたプレゼンテーションをしていて、発表の仕方も個性があり、先生の実いを誘うものや実際にスライドの前に立って、分かりやすく指示して行う人もいました。先生との質疑応答のやりとりは緊張感のあるものでしたが、聞いている3年生にとって来年度の卒業制計に対する考え方や表現方法を学ぶことができ、とても有意義な審査会となりました。